くらがの

発行所　倉賀野神社
〒370-1201
群馬県高崎市倉賀野町 1263 番地
電　話　027-346-2158
ＦＡＸ　027-346-2184
例祭（秋季大祭）　10 月 19 日
春季大祭　　4 月 19 日
公式ホームページ　www.chinju.info/

倉賀野神社御本社　御祭神の大國魂大神（おおくにたまのおおかみ）は大国主大神の荒魂と伝わる。

境内の「甲子大黒天」

倉賀野神社の「だいこくさま」

境内に金運の神、台所の神として親しまれている小さなお社があります。その中に鎮座する小槌を手にした大小数多の「だいこくさま」は、出雲の大国主神さまに由来すると云われます。現在の御社殿は昭和五十九年、甲子の年に建立されたものですが、今夏、氏子崇敬者の篤志により社殿の修理がおこなわれ、装いが綺麗にあらたまりました。

＊　＊　＊

「だいこくさま」は「おおくにぬし」へとつながり、さらに「いなばのしろうさぎ」のお話が思い出されます。……大国主命には たくさんの兄弟がいました。命はあるとき、兄たちのお伴で旅に出ました。すると海岸で赤裸になったうさぎが泣いていました。そこで命がやさしく声をかけると、うさぎが話すことには……海の向こう側に住んでいたうさぎは、いつもこちら側に来てみたいと思っていましたが、とても泳いで渡ることはできません。そこで、一計を案じ、海にすむワニ（サメ類のこと）に声をかけるのでした……。

広く知られる日本神話ですが、続きは倉賀野神社のオリジナル紙芝居「大国主神の冒険」で楽しむこともできます。

創作紙芝居　「大国主神の冒険」から

ごあいさつ

宮司　髙木直明

氏子崇敬者の皆様にはかねて神社の護持運営に温かいご理解とご支援をたまわり、有難く厚く御礼申し上げます。

さて本年はこれまで全国で未曽有の風水害、予期せぬ大地震などの災害が発生しました。ニュースに接するたびに胸が痛むことでした。被災地の皆様に心からお見舞いを申し上げます。月ごとの月次祭におきましても一日詣りの皆様とともに、荒ぶる神々がどうか鎮まりますよう、そして一刻も早く復旧、復興なりますようご祈願申し上げたところです。

当地はこれまで甚大な被害がなく、この秋には神饌田の稲穂を刈り取る儀式を無事に執り修めることができました。御神恩に感謝申し上げるばかりです。

天皇陛下御即位三十年の秋の大祭にその新穀をお供えし、国家皇室の弥栄と氏子崇敬者の平安をお祈りするものであります。平成三十一年の四月三十日には陛下の御譲位、五月一日には皇太子殿下の御即位がおこなわれ、我が国は新しい御代にあらたまります。国民こぞって奉祝申し上げたいと存する次第であります。

神棚のお話

◎新年に神棚におまつりする御神札の一そろえを「お正月さま」と云います。

我が家に神棚をおまつりすることは、とても幸せなことです。神様の前にいつでも手を合わせて、家族の安全と繁栄を祈ることができるのです。神棚の向きは、神様（＝御神札）からみて南向きまたは東向き（北側または西側を背に）におまつりするとよいでしょう。

アパートやマンションにお住いの場合でも、簡易型の宮形を置いて御神札をおまつりすることができます。社務所に用意がありますので、どうぞお声掛けください。

◎「一そろえの御神札」について、左写真の番号順にお話しましょう。

①「神宮大麻」　皇室の御祖先神である「天照大御神」をまつる神宮の御神札です。「お伊勢さま」ともよばれ、日本中の家庭で、神棚のいちばん中央にまつられています。

②「歳神さま」　新しい一年を待ち望んで家々におまつりする御神札で、一年のみのりをもたらす御神徳があります。この御神札が「お正月さま」という名前の起こりともいえましょう。

③「年中祓」　細長い形状のおふだで、昔は家の門口の竹筒に差しておき、帰宅するときにこれを抜き取ってわが身にかざし、災厄を祓い清めてから家の中に入ったといいます。今日では神棚に一緒にまつることが多くなりました。

④「三本荒神さま」　生活に欠くことのできない火と水の清浄をお守りいただきます。幣台の上に三本並べて差したてます。もともとは竈門や井戸、便所などの各所に立てたといいますが、今日では神棚にいっしょにまつることが多くなりました。また台所におまつりする家もあります。

①から④の御神札が一そろえとなって「お正月さま」とよばれます。

◎また、四月十九日に春の大祭を迎えると、神社から「鎮守倉賀野神社」の御神札を受けて、あわせて神棚におまつりします。古来、「春祈祷の御神札」とよばれてきたものです。

◎さらに御神札を旅先で受けたり、崇敬する神社から受けたりすることもあるでしょう。すると神棚の中も、だんだん混みあってまいりましょう。そう、日本は「八百万の神」の国ですから、いっそう神さまのご守護をいただくことで、それは喜ばしいことなのです。

ただし、いずれの場合にも①の「神宮大麻」をいちばん中央におまつりすることが大切です。

◎なお、年毎に新しい御神札を神社から受けておまつりし、一年を経た御神札は、これまでのご守護に感謝をこめて、神社に返納するのが習わしです。お問合せ先

社務所０２７（３４６）２１５８

「お正月さま」御神札のまつり方の一例。
神宮大麻（天照皇大神宮さま）は、つねに中央におまつりします。

境内に秋　キンモクセイ

祭典奉納者及奉賛会特別会員　芳名

（会社・店舗様のみ掲載　敬称略）

（株）原田　・　関東いすゞ自動（株）
高崎森永（株）　・（株）キノコ輪大
須永建設（株）　・　今井菓子店
大山小児科医院　・　堀米医院
（有）関東印刷　・フクダ工業（株）
関東礦油（株）　・（株）コウショウ
関東電工（株）　・　（株）綿貫自工
（株）アミッツ　・　丁子堂房右衛門
医療法人井上病院・八木工業（株）
冬木工業（株）・宮野環境設備（株）
くらがの動物病院・高崎弁当（株）
（株）キンセイ産業・日本化薬（株）
関東ロックウール（株）　・　明邦苑
群馬銀行倉賀野支店
ＪＡたかさき倉賀野支店
高崎信用金庫倉賀野支店
しののめ信用金庫倉賀野支店
倉賀野郵便局・第一屋製パン（株）
（株）グンシナ　・（有）武井製作所
松下米穀店　・（有）高崎プロセス
税理士法人真下経営・カーブライト
平和交通倉賀野営業所・小島石材店
スナック再会　・　小料理わたる
（株）サァンクリエイション
北関東秩父コンクリート（株）
（株）コーアエンジニアリング
（株）エーエムコーポレーション
（株）アドテックス
中央自動車倉庫（株）

随想　左見右見（とみこうみ）

総代会長　髙橋義明

「旅」と「旅行」は違うものです。

永六輔さんはそう言って旅の種類を教えてくれた。

漢語辞典の「旗の下に列を組んだ多くの人びと、何人かが連れ立って行く意」という日本語ではない英語の旅です。

「トリップ」は気分転換になる小旅行のこと、「ツアー」は目的に向かっての団体行動、「トラベル」は出発から帰宅までの行程が決まっているもの。「ジャーニー」は予定も決めず、自由に出かける旅の四種類です。

通いなれた道を一つ手前の角を曲がって遠回りをする。違った風景がある。旅になる。永さんは、そんな風に言って、道に迷ったり間違ったら面白がってしまえばいいのだ。寄り道、道草と思うのだ。違った風物や人びとが見えてくると書いている。

私は中山道の旅の中で連れの二人に琵琶湖畔の小野神社に行くと告げた。

日本一の書家小野道風、日本一の美女小野小町の祖になる歌人の小野篁も祭られている社である。気乗りの薄い二人に篁と閻魔大王の秘密を解き明かした。

篁は昼は真面目な役人として律令政府に仕えて、夜は閻魔大王のもとに通う忠実な冥府の役人であったという。

見て来たような嘘と言われると困るが、数年前に京都の珍皇寺の篁が冥府に通う「往」の井戸も覗き、閻魔大王の像とともに並んでいる篁像にあっていることを説明した。

二人は即座に

「行く、行こう」となった。

宿はX市の中心部のビジネスホテルを頼んであった。夜は町に出て少し贅沢にと思っていた。

困りました。日曜日の官公庁街に続く大通り小通りは閑散としている。私たちは歩いた。郷土料理の店、ファミリィレストランまで尋ね歩いた。全てが休業なのである。

ラーメン店が開いていた。飛び込んだ。救われたと思った。

私の失敗を慰めるつもりか、連れの二人は話を面白がる方に運ぼうと苦労している。優しいのだ。家に帰れば中山道六十九次の倉賀野宿の閻魔祭りにご奉仕する世話人である。篁が冥府の役人こちらは現世の役員なのだ。

ラーメン屋の親父さんが、

「売り手よし、買い手よし、世間よし」

近江商人の心得をそっと教えてくれた。

旅は止められない。

■短信■

▽四月十九日　春の大祭が盛大に

↑ 倉賀野中２年生の浦安舞
（うらやすのまい）

太々神楽　天の岩戸開きの舞→

▽六月三十日　夏越大祓式・茅輪くぐり

半年毎のくぎりに罪穢れを祓い清める恒例の儀式。大勢の参列者が茅輪をくぐり、併せて夏の疫病除けを祈願した。

▽やるベンチャーウィーク　中学生が神社で職場体験

二年生の一学期の恒例行事。注連縄につける紙垂をつくる場面では、宮司の話を聞きながら神妙な面持ちで取り組んでいた。

蚕の神様　蚕影神社

ことし明治百五十年を迎え、国の殖産興業の一翼を担った養蚕・製糸の歴史がいま、改めて注目されている。

蚕影神社の建立

明治十八年（一八八五）三月、大國玉神社（当時の倉賀野神社の呼称）の境内に蚕影神社が建立された。この時代、当地でも養蚕業はいよいよ盛んになり、常陸国筑波郡神郡村に鎮座する蚕影山神社の御分霊を勧請したものである。このとき祠掌（神主）高木定賢と三名の信徒惣代 塚越七三郎、小金沢伝平、大島惣十郎の差出により、管轄の西群馬郡片岡郡長あてに「御分霊願」が提出された。

御分霊願を読みくだすと、「当地においては未だ養蚕守護の神社が無く、熱心な信者は数十里の遠く、費用をかけ、常陸国蚕影山に詣でようとする者が続々とある」として、今後、境内に「新たに小宮殿を設け、年々四月十八日より二十二日迄の五日間、養蚕倍盛成就の祈念及び祭典を執行」するとし、「本山社務所との談判も行き届いたので、なにとぞ許可をいただきたく」と勧請を願い出ている。

蚕影山大神 御神影

御祭神は保食神

その「御分霊願」に付された「叙詞」と題した文章によれば、蚕影神社は、「保食大神を奉祀す。此の大御神は遠く神世にして、我葦原瑞穂の洲に在らせられて諸穀の種つ物を生みなせしと。然る後、御頭より駒を生み、次に御眉より蚕を生み、而して又、口内に繭を含みて糸を抽き出す。又以て機織の道を教へ給ひしとなん、之れ天下の蒼生をして衣食の道を得たりと云へり。然らば即ち此の恵澤に浴せざる者なし。実に崇敬せずんば有るべからざる。」さらに、蚕の病気を平癒し、鼠の害を防いで、「四眠四起の安全」を守護くださるとして、保食神の御神徳を称えている。

幕末にもおこなわれていた蚕神の祭り

養蚕は幕末の頃にすでに盛んで、蚕影神社の勧請以前にも、当地で蚕神の祭りが行われていた。たとえば慶応二年（一八六六）に、神主高木定賢による『御蚕屋祭祝詞』が残っている。そのなかで蚕の神様として祀られているのは、大宜都比賣命であった。先に見た保食神は日本書紀の中に見え、一方、大宜都比賣命は古事記の中に見える神である。いずれの場合も、さまざまな動植物をその体内から吐き出し、生み出して、農業や漁業、畜産業などの基をつくるという、不思議な霊力が語られている。まさに蚕神たる所以である。

御祭神はいま御本社に

昭和時代、やがて未曽有の戦時となり国民生活が困窮する中で、蚕影神社を維持することが困難になったものと思われる。当時の経緯は詳らかでないが、御祭神は御本社に併せ祀られることになった。

戦後も養蚕業の復興はならず、いま境内に社殿の跡を見ることはできないが、百三十年前に蚕影山から戴いた御神影が御本社に残る（写真）。かつて近隣に広がっていた桑畑も今はなくなり、生業として養蚕を営む家は皆無となった。

時代が移るにつれて人びとの暮らしも変容し、新しい産業がたくましく進展していく。保食神はこれからも氏子の家々の生業を厚く守護いただくことである。

参考資料　○社務所蔵『鎮守村社倉賀野神社誌』大正二年四月　○『養蠶の神々―蚕神信仰の民俗―』（阪本英一著）平成二十年三月

倉賀野神社拝殿彫刻

獅子・獏・海老虹梁